学校番号	3015

令和４年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「明解　世界史Ａ　」（帝国書院）						
副教材等	「タペストリー世界史　二十訂版」（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書を暗記するだけでなく、得た知識を結合して事象理解に活用しよう。
・国際文化科に在籍する生徒として、世界の成り立ちに対して強い関心を持って欲しい。
・定期考査前だけでなく、自学自習の定着、グループ学習による他者と協働したアウトプットに積極的に取り組んで欲しい。

２　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 教え合い活動	〔主題学習〕 グループワーク	〔主題学習〕 達成度を素点から判断する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	自然環境と歴史	・乾燥地帯の生活と歴史 ・海と森の世界の生活と歴史	○		○		a．地理と歴史に関心を高め、意欲的に追求することにより自然環境と人間生活の相互作用に気付く。 c．地図や写真等から事前環境と生活の関係を読み解くとともに、年表や地図に表現する。	ワークシート
	第1編 ユーラシア文明と交流	第１章アジアの諸文明 ・東アジアの文明 中国文明の成立と東アジア/アジア文化圏の形成/宋王朝と周辺諸国の国際関係/ユーラシアの交易路/遊牧社会の発展とモンゴル帝国/明・清時代の大陸アジア/海域アジアの繁栄 ・南アジアの文明 南アジアの文明とインド社会 ・東南アジアの文明 東南アジアの文化と海上交易 ・西アジアの文明 西アジアの古代文明/イスラーム文明の開花/ティムール帝国とムガル帝国/オスマン帝国とサファビー朝	○	○	○	○	b. 中国を中心とする東アジアの文明の特色を、風土、文化、国際体制等の視点からとらえるとともに、日本の国家形成を東アジアの国際体制との関連で捉える。 b. ユーラシア文明圏の特色について、陸と海の視点から捉える。 c. インドを中心とする南アジアの文明の特色を、風土、民族、宗教等の視点からと捉える。 c. 写真、地図、年表等を活用してアジアの各地域の諸文明について風土・文化・宗教、陸上および海上交易と交流の特色について読み解く。 d. 西アジアの文明の特色を、イランを中心とする古代文明とイスラーム文明から捉える。	定期考査 ワークシート

		第2章文明の交流と変容 ・ヨーロッパの文明 古代地中海世界/西ヨーロッパ世界の形成/東ヨーロッパ世界の形成 ○ユーラシアをこえて(アフリカ、オセアニア、アメリカの諸文明)					a. ヨーロッパの文明の特色を、古代地中海文明と中世ヨーロッパ文明からとらえる。 b. ヨーロッパの文明の特色を、古代地中海文明と中世ヨーロッパ文明から捉える。 c. 写真、地図、年表を活用して、ユーラシアと異なる世界の風土・文化の特色を読み解く。 d. 写真、地図、年表を活用して、ヨーロッパ世界の展開と風土、文化の特色をキリスト教の展開を考慮しながら読み解く。	定期考査 ワークシート
2学期	第2編 一体化する世界	第3章ヨーロッパの再編と太平洋世界 ・ヨーロッパの新時代 ヨーロッパの航路開拓とアメリカの植民地化/ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパの主権国家と大西洋世界 主権国家体制/成熟するヨーロッパ諸国/大西洋貿易の時代	○	○	○	○	a. ヨーロッパの発展を、新航路開拓・ルネサンス・宗教改革の視点からとらえる。 b. 17･18 世紀のヨーロッパの特色と展開を、主権国家体制と大西洋貿易の視点からとらえる。 c. 写真、地図、年表等を活用して、ヨーロッパの新時代の特色と展開を読みとくとともに、革命の時代のヨーロッパの特色と展開を読み解く。 d. 現在につながるルネサンス、宗教改革、主権国家体制についての知識を定着させる。	定期考査 ワークシート

		第４章拡大する欧米の衝撃とゆれるアジア･アフリカ ･革命の時代へ 産業革命と一体化する世界/アメリカ独立革命/フランス革命/ナポレオンの大陸支配/ら連アメリカ諸国の独立 ･国民国家建設に向かう欧米諸国 ウィーン体制/自由主義運動と社会主義/1848 年革命/帝国の再編と国民国家/発展するアメリカ合衆国 ･帝国主義とアジア･アフリカの従属化 第２次産業革命と欧米諸国/むばる帝国の崩壊/オスマン帝国の衰退と西アジア/東南アジアの植民地化と太平洋分割/アフリカの分割とラテンアメリカ					a. 産業革命とアメリカの独立、フランス革命を中心にヨーロッパの諸革命を捉える。 現在につながる帝国主義に実態についても考えさせる。 b. 写真、地図、年表を活用して、ヨーロッパの発展と、第２産業革命後の世界を、日本の動向も含めて読み解く。 d. 国民国家建設の動向を中心に、19 世紀のヨーロッパの展開をとらえる。 第２次産業革命後の欧米のアジア･アフリカの関係を読み解く。	定期考査 ワークシート
2学期		･東アジアと日本の帝国主義化 清朝の動揺/東アジアの中の日本と朝鮮/日清･日露戦争と日本のアジア進出	○	○	○	○	a. 19 世紀の東アジアの展開を、清朝の同様と日本の近代化帝国主義化の動向を中心にとらえる。 b. 写真、地図、年表を活用して、第２産業革命後の世界を、日本の動向も含めて読み解く。	

3学期	第3編 現代世界と地球社会への歩み	第5章世界戦争の時代 ・急変する人類社会 現代社会のはじまり ・第一次世界大戦と「民族自決」 第一次世界大戦/ロシア革命/ヴェルサイユ体制とワシントン体制/第一次世界大戦後のヨーロッパとアメリカの繁栄/西アジア・インド・東南アジアの民族運動/朝鮮・中国の民族運動 ・第二次世界大戦の悲劇 世界恐慌/ファシズムの台頭/日本の軍国主義と日中戦争/第二次世界大戦の勃発/太平洋戦争/世界戦争の終結					a.移民、技術革新、大衆化を中心に、19世紀末から 20 世紀初頭の社会の変化について理解する。 b.第一次世界大戦から第二次世界大戦までの時代の流れを、国際協調と民族自決、ファシズムの視点から理解する。 第二次世界大戦後の世界を、冷戦と冷戦の終結、第三世界の動向を踏まえて理解する。 c.写真、地図、年表、史料等を活用して、19 世紀末からのそれぞれの時代の特質と課題を読み解く d.現代につながる第一次世界大戦から戦後の世界を時系列に従って理解させ、知識を定着させる。	定期考査 ワークシート
		第6章大戦後の世界と現代社会 ・冷戦期の世界 ・現代社会の歩みとその課題 ○日本列島の中の世界の歴史	○		○	○	a.冷戦終結後の世界の特質を理解し、諸地域世界の課題を考察する。 c.写真、地図、年表、史料等を活用して、冷戦終結後の世界の特質と課題を読みとく。 d.世界史との関連の中での日本の歴史を捉えまとめる。	定期考査 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。